

2022年8月2日

株式会社ウエストホールディングス

「SDGsの推進に関する東松島市と株式会社ウエストエネルギーソリューションとの包括連携協定」の締結について

株式会社ウエストエネルギーソリューション（代表取締役社長：江頭 栄一郎、以下「ウエストグループ」）と宮城県東松島市（市長：渥美 巖、以下「東松島市」）は、「SDGsの推進に関する包括連携協定」を締結いたしました。

本協定は、東松島市とウエストグループが相互に連携しながらSDGsの推進のため、地域が抱える課題やニーズに対応し、持続可能な社会の実現に寄与することを目的に締結するものです。

【連携事項】

- （１）環境保全・エネルギーに関すること
- （２）安全・安心なまちづくりの推進に関すること
- （３）産業振興・賑わいづくりに関すること
- （４）その他前条の目的を実現するための施策に関すること

取り組みの第一弾として、東松島市の公有地5か所に477.42kWの太陽光発電所を建設いたします。初年度の年間発電量は、474,935kWhで、一般家庭の約90世帯分の年間消費電力（*1）に相当し、CO2削減量は、272.6トン（*2）の削減効果となります。

東松島市は、令和4年4月に「環境省第1回脱炭素先行地域」に選定され、脱炭素の取組を推進されています。今回の公有地での太陽光発電所の建設はその一環となります。

今後は、連携事項に基づき、再生可能エネルギーの活用やBCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）の観点からの蓄電池の活用の検討など様々な施策で相互の緊密な連携と協力を図り、地域社会の持続的な発展を目指してまいります。

ウエストグループは、「ウエストグループのカーボンニュートラルビジョン2025」をスタートし、社会全体のCO2排出量削減に取り組んでいます。ウエストグループが開発・建設・販売する太陽光発電所、ウエストグループが保有する太陽光発電所、メガソーラー再生事業、ASEAN諸国での太陽光発電所の開発・建設などを中心として、国内外で200万kWの再エネ電源の普及に貢献します。

*1：東京都環境局WEBサイトより抽出。4人家族 平均電気使用量 436kWh

*2：CO2削減量については、排出係数として令和2年度実績値（令和4年1月環境省・経済産業省公表）である0.574kg-CO2/kWhを使用しています。



[SDGs 推進の包括連携協定式]

右：宮城県東松島市 市長 渥美 巖 様

左：株式会社ウエストエネルギーソリューション 常務取締役 屋代 勝弘



宮城県東松島市大曲上台 A 太陽光発電所 (104.65kW/dc)

(お問い合わせ) 株式会社ウエストエネルギーソリューション 首都圏本部 (電話) 03-6262-6635